

ドキュメンタリー映画

笹の墓標

日本・韓国・在日コリアンの若者たちの十五年の歩みを描く

1997年夏
北海道 幌加内町 朱鞠内

日本・韓国・在日コリアンの若者たちが、戦時中の雨竜ダム建設、名雨線鉄道工事で命を落とした強制連行、強制労働の犠牲者たちの遺骨を発掘しようと集まった。東アジア共同ワークショップの始まりである。

以来今日まで、朱鞠内、猿払村浅茅野、芦別の発掘や韓国での体験者や遺族の調査、遺骨の返還と、若者たちの出会いは国境を越えて広がっていった。

日本と韓国、在日韓国・朝鮮人の若者たちが、共通する歴史と向き合いながら、どのような未来を創ろうとしてきたのか、時代をどう生きようとしてきたのか。

- 第一章 朱鞠内 (113分)
- 第二章 浅茅野 (98分)
- 第三章 遺族 (109分)
- 第四章 未来へ (120分)
- 第五章 私たち (107分)



監督 影山あさ子・藤本幸久

企画・製作・著作 森の映画社

全5章／9時間7分

Graphics & design by Yuko Tonohira